

令和5年度 東京都立板橋高等学校 学校経営報告

5年度の経営目標	実施内容等
<p>1 学習指導の 充実</p>	<p>東京都教育委員会から「学びの基盤」プロジェクト研究協力校の指定を受け、進学指導力、学習指導力、授業力の向上に組織的・計画的に取り組み、生徒の学力及び進路実績の向上に努めた。</p> <p>① 学力スタンダード事業の実施を通して、年間指導計画に基づき、目標設定を明確にした授業を計画的に行った。</p> <p>② 生徒による授業評価及び学校評価結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ。</p> <p>③ 年間6回の学力テスト（全国規模の模試）及び年間2回の学力テスト分析会、通年の教科会の実施を通して、学習指導の成果検証及び学力向上策の具体化を図り、授業及び指導方法の改善に生かした。</p> <p>④ 夏季休業日中の講習28講座（夏季集中型学力向上講習を含む）、年間10回の土曜講習を計画的に実施し、大学入試を意図した学力向上及び団体戦の意識向上に努めた。</p> <p>⑤ 3年生を対象に予備校講師による夏季講習（国語・数学・英語）を校内実施し、学力及び志気の向上に努めた。また、予備校講師の授業見学を通して、教員の授業力向上に役立てた。</p> <p>⑥ 年間3回の英語検定、年間2回の漢字検定、年間6回の小論文講座、年間1回の日本語検定を校内実施し、生徒の資格取得及び学力向上を支援した。</p> <p>⑦ 生徒の能動的な学習を促すアクティブ・ラーニング型の授業実践が増加しつつある。高大接続改革に的確に対応するため、更なる普及推進を図っていく。</p> <p>⑧ 学校図書館を平日8:40から16:50まで開室するとともに職員室前に質問机を配置し、校内の自学自習環境を整えた。</p> <p>⑨ 新学習指導要領実施に伴い1・2年生に導入された観点別学習状況評価を適正に実施するためのマニュアルを作成し、指導と評価の一体化を図る手順及び方法を整備した。</p> <p>⑩ 一人1台端末、Teamsの導入に伴いオンライン学習デーを6月に設定し、ICTを活用したオンライン学習の工夫、学習課題の配信等、新しい指導方法の研究・開発を行い、校内での普及推進を図った。</p> <p>⑪ 中部学校経営支援センター管内授業参観プログラムに参加し、他校教員の視点から授業改善の方向性を検討するなど、教科指導力の向上に努めた。</p> <p>⑫ 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修に伴う研究授業、「学びの基盤」プロジェクト研究協力校としての研究授業を計14回実施し、授業力向上を図るための相互参観の機会とした。</p>
<p>2 進路指導の 充実</p>	<p>進路指導計画に基づき、進路指導部、学年、教科が協働し、進路指導に計画的に取り組み、生徒の志気及び進路実績の向上に努めた。</p> <p>① 進路ガイダンス、社会人アドバイザー交流会、「社長のなり方」講座、卒業生による進路報告会等の実施を通して将来の在り方生き方を考えさせるなど、進路意識の啓発、キャリア教育の充実に努めた。</p> <p>② 3年生を対象とした進路ガイダンス及び指定校推薦ガイダンス、上級学校説明会、大学入学共通テストガイダンスの実施を通して、大学等の特色及び入試状況について生徒の理解を深めるとともに、進路希望実現に向けたモチベーションアップにつなげた。</p> <p>③ 年間6回の学力テスト（外部模試）及び年間2回の学力分析会の実施を通して、生徒一人一人の学力状況を把握し、進路支援に生かした。</p> <p>④ 面接週間における二者・三者面談、進路指導部による進路相談等を活用し、進路情報の提供及び進路相談の充実に努め、進路希望実現を支援した。</p> <p>⑤ 8月に実施した夏季集中型学力向上講習（1・2年生対象）、通年の学年集会、卒業生による進路報告会等を通して、進路意識の醸成、団体戦の意識高揚に努めた。</p>

<p>3 生活指導の 充実</p>	<p>① スクールカウンセラーによる新入生全員面接に加え、年間 210 回の教育相談を行うとともに、教育相談部会を年間 8 回開催し、いじめや不登校等の未然防止及び心の悩み相談に組織的・計画的に取り組むなど、相談機能の充実に努めた。</p> <p>② 保健講話として精神科医による講演会（1 年生対象）を実施し、生徒の心身の健康の保持増進に努めた。</p> <p>③ 1・2 年生を対象としたセーフティ教室を 7 月に実施し、「薬物乱用防止」について学習した。また、3 年生対象のセーフティ教室を 1 2 月に実施し、「成年年齢引き下げに伴う契約トラブルとその回避」について理解を深めた。</p> <p>④ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめアンケートを年間 3 回実施し、いじめの早期発見及び未然防止に努めた。</p> <p>⑤ 年間 4 回の避難訓練を実施し、自他の安全を守る姿勢や態度の向上に努めた。</p> <p>⑥ 校内での挨拶励行、身だしなみ指導、授業の開始終了時刻遵守による生活規律確立に組織的に取り組んだ。</p> <p>⑦ e ラーニングによる研修に加え、教職員を対象とした校内研修を年間 4 回実施し、人権尊重の精神及びコンプライアンスの徹底を図るとともに、体罰・暴言等の服務事故防止について共通理解を図った。</p> <p>⑧ 都立学校版コンディションレポートを活用し、生徒の発熱等の身体状況を把握するとともに、メンタルヘルスの保持増進に役立てた。</p>
<p>4 特別活動、 部活動の充実</p>	<p>① 陸上競技部が東京都教育委員会より「Sports-Science Promotion Club」の指定を受け、科学的トレーニングの積極的な導入により短時間で効果が得られる合理的かつ効果的な活動を推進し、競技力向上を図った。</p> <p>② 男子バレーボール部と卓球部が東京都教育委員会より「部活動改革パイロット校」の指定を受け、地域クラブ活動の指導者による指導を生かして競技力向上を図るとともに、教員の働き方改革推進に努めた。</p> <p>③ 体育の授業における体幹トレーニング（一校一取組）を継続し、心身の健康の保持増進、体力の維持向上を図るとともに部活動の活性化に取り組んだ。全校生徒の部活動加入率は 73% であった。</p> <p>・陸上競技部… 5 月に東京で開催された「第 76 回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会」に出場し、男子 100m 決勝で 3 年生が優勝。6 月に山梨県で開催された「関東高等学校陸上競技大会南関東地区予選会」に出場し、男子 100m 優勝、男子 800m 第 3 位。8 月に札幌市で開催された「全国高等学校総合体育大会陸上競技大会」に出場し、男子 100m 決勝第 4 位。10 月に鹿児島市で開催された「燃ゆる感動かごしま国体特別国民体育大会」に出場し、陸上競技少年男子 A100m 決勝第 4 位。2 月に大阪城ホールで開催された「2024 室内陸上男子 U20 の部 60m 決勝」に出場し準優勝。</p> <p>・吹奏楽部… 8 月に府中の森芸術劇場で開催された「第 63 回東京都高等学校吹奏楽コンクール」に出場し C 組銀賞を受賞。</p> <p>④ 体育祭は 6 月に全校開催、板高祭（文化祭）は 9 月に来場者数に制限を設け一般公開して開催。</p> <p>⑤ 高校生書評合戦（ビブリオバトル）校内予選を 9 月に実施し、読書活動を推進するとともに、表現力やプレゼンテーション能力の向上に努めた。</p>
<p>5 関係諸機関 との連携・ 学校 PR</p>	<p>① 1 年生は「人間と社会」（総合的な探究の時間で代替）における活動として、学校安全計画の全体計画に基づき、板橋消防署、東京防災救急協会、板橋消防団と連携した上級救命講習を、板橋消防署と連携した防災訓練（防災講話、起震車体験、初期消火訓練）を実施した。また、マイ・タイムライン作成を通して、災害時に自分自身が取らなければならない防災行動について理解を深めた。</p> <p>② 夏季休業日中の学校見学会、個別見学会や学校説明会を開催するとともに、地域の進路相談会でのブース参加を通して、延べ 3,477 人の参加者数を得た。</p> <p>③ ホームページを年間約 150 回更新し、本校の教育活動の様子を、中学生をはじめ広く都民に発信した。</p>

④ 教育活動の様子を来校者に紹介するため、美術、書道、写真部作品等の校内展示を常時行った。	
5年度の主な学校説明会等の来場者数	
① 板橋区立中学校対象進路相談会(7.22)…207人	② 北区進路フェア(7.30)……………217人
③ 学校見学会(8.5,27)……………1,013人	④ 個別見学会(8.7～9,21～22)……………824人
⑤ 第1回学校説明会(10.28)……………345人	⑥ 第2回学校説明会(11.5)……………456人
⑦ 第3回学校説明会(12.2)……………210人	⑧ 第4回学校説明会(12.16)……………205人
5年度の数値目標	
① 卒業時の進路決定率 90%以上	① 卒業時の進路決定率 95%
② 4年制大学への進路決定率 52%以上 中堅私大(日東駒専)合格者数20名以上	② 4年制大学への進路決定率 52% 中堅私大(日東駒専)合格者数 16名 (他 文教大3名・東京農業大1名等) ・4年制大学合格者数 163名
③ 学校評価における肯定的評価(学習指導、生活指導、進路指導、学校生活、部活動)の肯定的評価85%以上	③ 学校評価における肯定的評価 ・学習指導 70% ・生活指導 81% ・進路指導 77% ・学校生活 74% ・部活動 71%
④ 部活動加入率 72%以上	④ 部活動加入率 73%
⑤ 入学者選抜応募倍率 ・推薦に基づく選抜 3.2倍以上 ・第一次募集 1.4倍以上	⑤ 入学者選抜応募倍率 ・推薦に基づく選抜 5.00倍 ・第一次募集 1.57倍
⑥ 東京都体力・運動能力調査の体力合計点の平均値東京都平均以上	⑥ 東京都体力・運動能力調査の体力合計点の平均値は、男子、女子ともに東京都平均をやや上回った。
翌年度以降の課題と改善策	
<p>○ グランドデザイン、スクール・ミッション、グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、本校が育みたい生徒像及び育成すべき資質・能力を明確にした教育活動を推進している。今後は教育活動の全体構想に当たるグランドデザイン具現のための方策(教育課程、学習・進路指導、生活指導)を工夫・改善し、学力向上及びキャリア教育の充実に取り組んでいく。</p> <p>○ 全国規模の学力テスト結果分析に基づく校内研修を2回実施し、生徒の学力分布や単元ごとの得点率等を把握するとともに、学習指導の成果検証及び学力向上策の具体化、授業及び指導方法の改善につなげた。今年度は経年比較で学力上位層が増えていることから、学力テストごとに数値目標を設定し、そこから遡って授業の目標設定を明確にするなど、学習指導をより効果的に進めていきたい。また、高大接続改革に伴う大学入試改革を踏まえ、学力の3要素をバランスよく育むため、新傾向問題への習熟や探究活動への取組を充実させる必要がある。</p> <p>○ 進路指導では、社会人アドバイザー交流会、「社長のなり方」講座、卒業生による進路報告会等の実施を通して将来の在り方生き方を考えさせるなど、進路意識の啓発、キャリア教育の充実に努めた。次年度もキャリア教育の更なる充実を図り、学びへの探究心を高めていきたい。</p> <p>○ 入学者選抜における特別推薦を実施するとともに、東京都教育委員会より部活動に関する種々の指定を受け、部活動の活性化に取り組んでいる。この取組を通して文武両道の実践を推進し、学校の活性化及び学校生活への充実感の向上を図っていく。</p> <p>○ スクールカウンセラーによる教育相談件数が年間210回に上るなど、生徒・保護者のニーズに対応してきた。保健講話の実施に加え、相談機能の充実に係る取組を引き続き強化していく。</p> <p>○ 本校への志望者数増加を図るため、ホームページの充実をはじめとする募集対策活動に力を入れ、入学者選抜における応募倍率の向上を図った。</p> <p>○ 学校評価アンケートにおける生徒の学校生活満足度は74%であった。生徒や保護者のニーズや期待を真摯に受け止めるとともに板橋高校の更なる魅力を創出し、CS(Customer Satisfaction)の向上につなげる教育活動を、引き続き推進していく。</p>	